

2 京都府の下水道

2-1 下水道事業

(1) 下水道事業のあらまし

下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水被害の軽減等を目的として、下水道法に基づき、京都府と各市町とが連携しながら市街地における汚水処理施設及び雨水対策施設の整備を行っている。

京都府内では、京都府が事業主体の流域下水道事業として、府全体の人口の約3割を対象に5箇所での汚水処理施設の整備を進めるとともに、市町が事業主体の公共下水道事業として、15市8町で供用しており、その処理人口は府内人口の約9割に当たる240万人(平成26年度末)に達している。また、雨水対策としては、公共下水道事業に加え、流域下水道事業として、桂川右岸流域を対象とした「いろは呑龍^{どんりゅう}トンネル」の整備を進めている。

(2) 下水道整備状況

京都府内では、まず京都市が昭和5年に事業着手し、昭和9年に吉祥院処理場の運転開始後、昭和14年に鳥羽処理場が完成した。また、北部においても、福知山市と舞鶴市が昭和30年代前半に事業着手し、昭和40年代前半に供用開始した。

京都府の流域下水道は、特に都市化の著しい府南部流域において、最初の流域下水道である桂川右岸流域下水道が昭和54年に供用開始し、続いて木津川流域下水道が昭和61年、木津川上流流域下水道が平成11年に供用開始した。JR山陰本線の複線電化や京都縦貫自動車道の整備等に伴い、京都都市圏として都市化が進行している中部流域においては、桂川中流流域下水道が平成11年に供用開始した。自然環境に恵まれた北部地域においては、名勝天橋立を中心とした宮津湾周辺地域で宮津湾流域下水道が平成5年に供用開始した。

雨水対策としては、平成7年から京都府が「いろは呑龍トンネル」の事業に着手し、平成13年に一部供用開始、平成23年度には北幹線が供用開始し、乙訓地域の浸水被害の軽減に威力を発揮している。

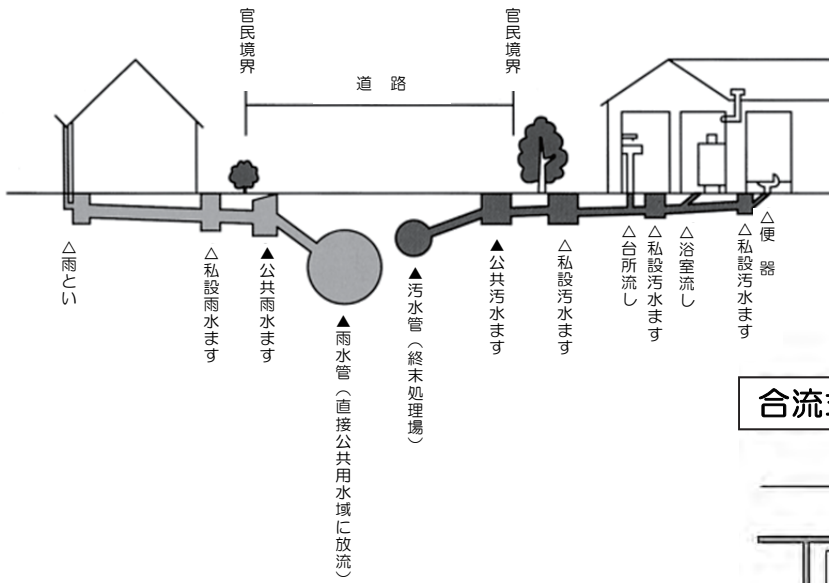
(3) 下水道のしくみ

下水道の施設は、管渠、ポンプ場、処理場から構成されている。

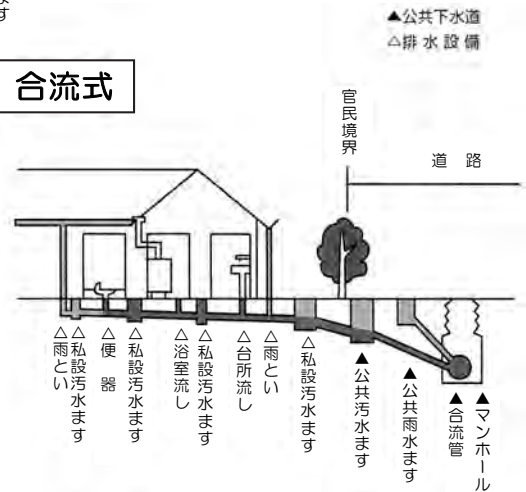
家庭の台所・トイレ・風呂や工場等の事業所から排出される汚水は、各家庭又は事業所の排水設備から汚水ますに流れ込み、道路下に埋設された管渠を通じて処理場へ流入し、処理場で処理された後、河川等に放流されている。雨水の場合は、雨水ますを経て、管渠に流れ込み、河川等に放流されているが、貯留管等の貯留施設に一時的に貯留するものもある。

下水の排除方式としては、汚水と雨水とを別々の管渠系統で排除する分流式、汚水と雨水とを同一の管渠系統で排除する合流式がある。

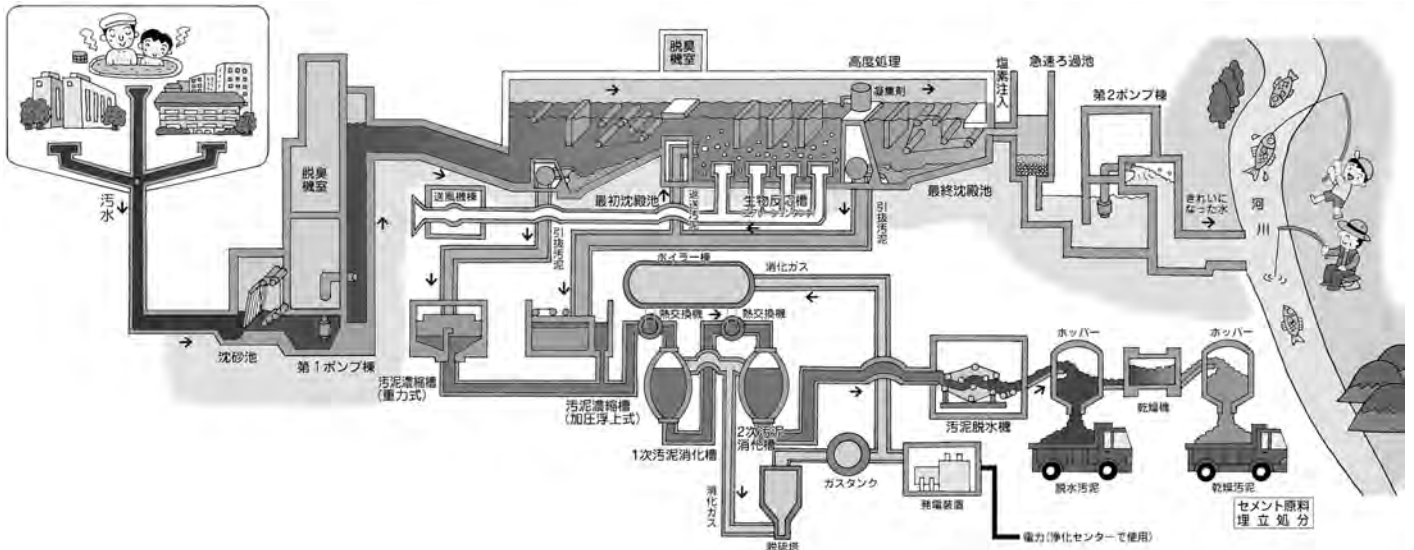
分流式



合流式



汚水処理のしくみ



処理場

※洛南浄化センターの事例

(4) 下水道普及率

(平成26年度末現在)

市町名	行政人口(A) (人)	処理人口(B) (人)	接続人口(C) (人)	処理面積 (ha)	普及率(B/A)	接続率(C/B)
京都府計	2,574,062	2,401,150	2,289,794	34,434	93.3%	95.4%
京都府計(京都市を除く。)	1,156,325	990,357	894,494	18,921	85.6%	90.3%
京都市	1,417,737	1,410,793	1,395,300	15,513	99.5%	98.9%
福知山市	80,038	65,848	64,462	2,326	82.3%	97.9%
舞鶴市	86,188	76,097	65,825	1,834	88.3%	86.5%
綾部市	35,146	13,240	11,062	357	37.7%	83.5%
宇治市	190,172	166,875	138,106	1,540	87.7%	82.8%
宮津市	19,274	12,424	10,031	411	64.5%	80.7%
亀岡市	91,259	76,839	71,428	1,258	84.2%	93.0%
城陽市	78,461	77,649	71,163	907	99.0%	91.6%
向日市	54,471	54,465	53,670	647	100.0%	98.5%
長岡京市	80,338	80,111	79,300	971	99.7%	99.0%
八幡市	72,992	72,888	71,717	1,118	99.9%	98.4%
京田辺市	66,824	65,532	62,861	1,165	98.1%	95.9%
京丹後市	58,104	26,795	14,000	983	46.1%	52.2%
南丹市	33,207	23,736	20,780	935	71.5%	87.5%
木津川市	73,319	66,352	62,293	1,434	90.5%	93.9%
大山崎町	15,436	15,422	15,321	288	99.9%	99.3%
久御山町	16,374	16,291	14,179	502	99.5%	87.0%
井手町	7,876	7,833	6,776	197	99.5%	86.5%
宇治田原町	9,692	6,061	4,679	150	62.5%	77.2%
和束町	4,330	2,586	1,789	83	59.7%	69.2%
精華町	37,489	36,759	35,232	773	98.1%	95.8%
京丹波町	15,421	4,851	4,452	244	31.5%	91.8%
与謝野町	23,166	21,703	15,368	798	93.7%	70.8%

桂川右岸流域下水道の普及率

(平成26年度末現在)

市町名	計画区域内 人口(A) (人)	処理人口(B) (人)	接続人口(C) (人)	処理面積 (ha)	普及率(B/A)	接続率(C/B)
合計	354,129	353,695	349,591	4,164	99.9%	98.8%
京都市	203,923	203,697	201,300	2,258	99.9%	98.8%
向日市	54,471	54,465	53,670	647	100.0%	98.5%
長岡京市	80,299	80,111	79,300	971	99.8%	99.0%
大山崎町	15,436	15,422	15,321	288	99.9%	99.3%

木津川流域下水道の普及率

(平成26年度末現在)

市町名	計画区域内 人口(A) (人)	処理人口(B) (人)	接続人口(C) (人)	処理面積 (ha)	普及率(B/A)	接続率(C/B)
合計	390,650	369,498	332,103	5,061	94.6%	89.9%
京都市	31,402	31,361	31,000	225	99.9%	98.8%
宇治市	121,758	103,841	81,753	909	85.3%	78.7%
城陽市	78,313	77,649	71,163	907	99.2%	91.6%
八幡市	60,671	60,567	59,405	1,000	99.8%	98.1%
京田辺市	66,103	65,532	62,861	1,165	99.1%	95.9%
木津川市	8,631	6,873	5,377	167	79.6%	78.2%
久御山町	15,925	15,842	13,768	491	99.5%	86.9%
井手町	7,847	7,833	6,776	197	99.8%	86.5%

宮津湾流域下水道の普及率

(平成26年度末現在)

市町名	計画区域内 人口(A) (人)	処理人口(B) (人)	接続人口(C) (人)	処理面積 (ha)	普及率(B/A)	接続率(C/B)
合計	37,999	34,127	25,399	1,209	89.8%	74.4%
宮津市	15,991	12,424	10,031	411	77.7%	80.7%
与謝野町	22,008	21,703	15,368	798	98.6%	70.8%

桂川中流流域下水道の普及率

(平成26年度末現在)

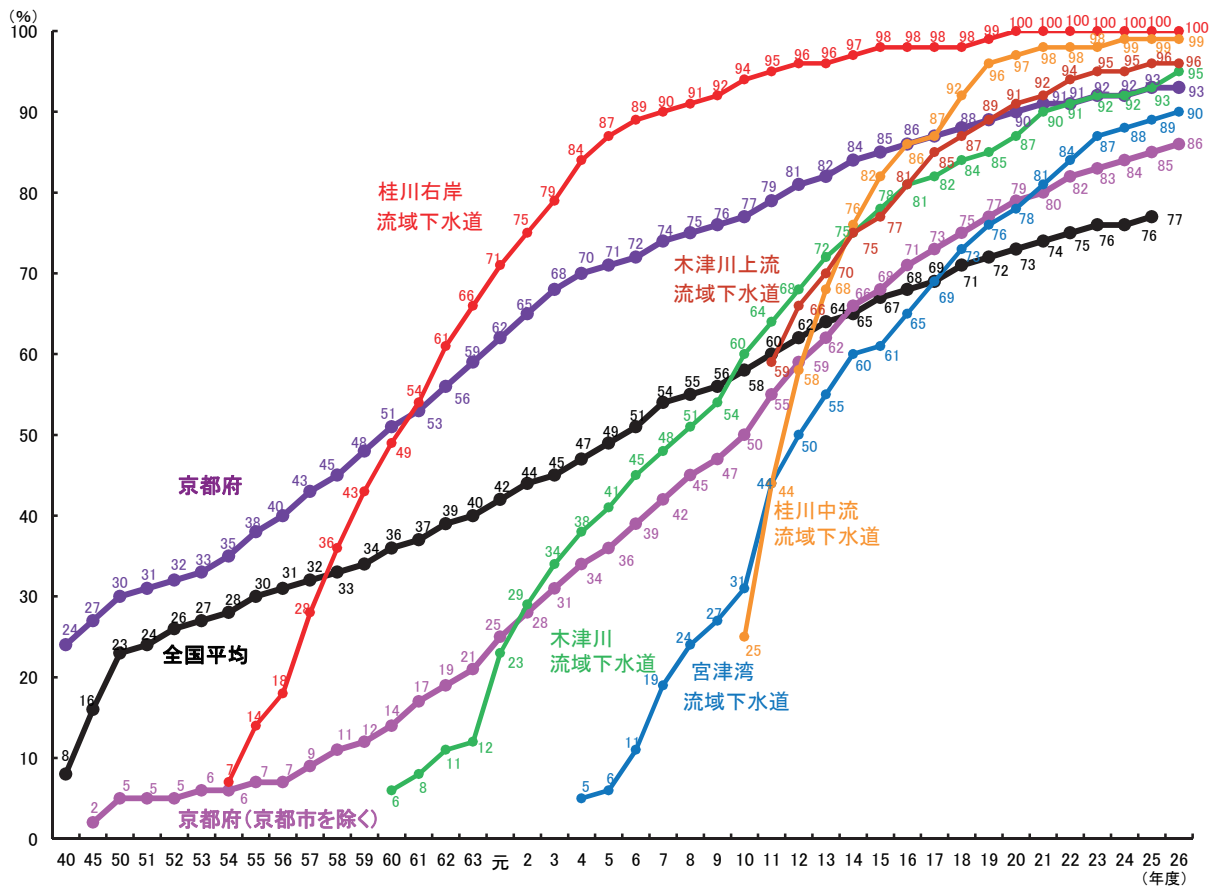
市町名	計画区域内 人口(A) (人)	処理人口(B) (人)	接続人口(C) (人)	処理面積 (ha)	普及率(B/A)	接続率(C/B)
南丹市	17,481	17,221	15,021	616	98.5%	87.2%

木津川上流流域下水道の普及率

(平成26年度末現在)

市町名	計画区域内 人口(A) (人)	処理人口(B) (人)	接続人口(C) (人)	処理面積 (ha)	普及率(B/A)	接続率(C/B)
合計	87,765	84,566	80,720	1,805	96.4%	95.5%
木津川市	50,276	47,807	45,488	1,032	95.1%	95.1%
精華町	37,489	36,759	35,232	773	98.1%	95.8%

(5) 下水道普及率の推移



(6) 下水道事業費の推移 (京都市を除く。)

